



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体である「あいおいニッセイ同和損保」のメセナ活動の一環として、全国の大学、美術大学で日本画を学んだ学生の展覧会を 2021 年より開催しています。
この活動は、さらなる「文化芸術振興」を目指し、若手の日本画家を対象とした発表の場の提供、また地方大学の卒業作品展示等や各地域と連動した企画の実施により「地方創生」を推進するギャラリー開設の主旨によるものです。
今回は、3 月 19 日(土)から「多摩美術大学日本画研究領域修了生 4 人展」金子 雄飛・小堺 百笑・高橋 優介・陳 美玉の展覧会を開催いたします。

■タイトル / 『光陰悠々』

～第 8 回大学日本画展 <多摩美術大学日本画研究領域修了生 4 人展>～

■会 期 / 2022 年 3 月 19 日(土)～4 月 3 日(日) 11:00～19:00 (月曜定休)【入場無料】

* 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります
ご来廊の前には必ずギャラリーの HP/ <https://unpel.gallery> または Twitter/ https://twitter.com/unpel_gallery/ をご確認ください

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■参加作家名（ふりがな）

・金子 雄飛（かねこ ゆうひ） ・小堺 百笑（こざかい もえ）
・高橋 優介（たかはし ゆうすけ） ・陳 美玉（ちん みゆう）

■主 催 / 多摩美術大学 絵画学科日本画専攻

■企 画 / UNPEL GALLERY

■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

■展覧会内容

多摩美術大学 大学院博士前期課程 日本画研究領域を 2021 年度修了した 4 名の作家による日本画作品展示を開催いたします。

大学院の 2 年間で同じ空間で制作してきた 4 人は、それぞれ違うモチーフを描き、作風を育んできました。その中で、4 人が共通して関心を持つものに『時間』があります。

私たちは絶え間なく流れる時の中で、感覚や感性を通した形の定まらない経験をしてきました。

社会に流されながら、変化し、抗い、私たち自身の心の移り変わりに向き合って制作しています。

私たちは見えそうで定まらないものを、自分なりの表現で、絵の中に留めておこうとしているのかもしれません。

長い時の中で私たちの精神は悠々と漂い続けてくのだと思います。

光と陰をおとす社会の中で、今を生きる私達の『時間』の一端に触れてみてください。

4 人展にて、2 メートル程の大作から小品まで、さまざまなサイズの日本画作品を約 20 点程度発表いたします。

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00（担当 / 中島 内城）* お問い合わせは E-mail にてお願いします

E-mail / tsubaki@un-pel.com TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

●作家プロフィール

金子 雄飛 KANEKO Yuhi

1994 東京都生まれ

2019 多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻 卒業

2021 多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻
日本画研究領域 首席修了

2019 多摩美術大学 卒業制作展

(多摩美術大学八王子キャンパス / 東京都)

第 42 回 東京五美術大学連合卒業・修了制作展

(国立新美術館 / 東京都)

卒業有志展「青果／成果展」

(銀座第 7 ビルギャラリー / 東京都)

「1990 年代展」(bar foxy / 東京都)

「焼津 カツオ SHOW てん」(焼津駅前商店街 / 静岡県)

「6 名の日本画研究発表会」(ギャラリー数寄和 / 東京都)

2020 「第 7 回 未来展」(日動画廊 / 東京都)

「焼津 かつお SHOW てん」(焼津駅前商店街 / 静岡県)

「カツオてん 2020」(Gallery Pumpkin / 静岡県)

2021 多摩美術大学 卒業制作展 (多摩美術大学八王子キャンパス / 東京都)

第 44 回東京五美術大学連合卒業・修了制作展 (国立新美術館 / 東京都)

「molt」(アートスペース羅針盤 / 東京都)



「end of the day」 120×180 (mm) 紙本彩色 2022 年

自然や現実世界の流れの中で、変わるものと変わらないものを見つめ、描いている。

小堺 百笑 KOZAKAI Moe

1996 神奈川県生まれ

2017 「HOT サンドルプロジェクト展 in 東京」

(銀座洋協ホール / 東京都)

2019 第 42 回 東京五美術大学連合卒業・修了制作展

(国立新美術館 / 東京都)

卒業有志展「青果 / 成果展」

(銀座第 7 ビルギャラリー / 東京都)

第 21 回雪梁舎フィレンツェ賞展 入選

佐藤文化育英財団奨学生

2020 「第 7 回 未来展」(日動画廊 / 東京都)

第 29 回 奨学生美術展 (佐藤美術館 / 東京都)

一般財団法人守谷育英会 奨学生☑

2021 第 44 回東京五美術大学連合卒業・修了制作展 (国立新美術館 / 東京都)

「人、と風景。小堺 百笑修了個展」(ギャラリー青羅 / 東京都)

多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻日本画研究領域 修了

2022 「山本冬彦推薦作家展 9」(銀座中央ギャラリー / 東京都)



「帰る時間」 805 × 1000(mm) 雲肌麻紙 岩絵具 2021 年

身近な風景やモチーフから人々の生活や生き方を意識し、鑑賞者に問いかける。

高橋 優介 TAKAHASHI Yusuke

1994 神奈川県生まれ
2019 第 42 回 東京五美術大学連合卒業・修了制作展
(国立新美術館 / 東京都)
卒業有志展「青果 / 成果展」
(銀座第 7 ビルギャラリー / 東京都)
佐藤文化育英財団奨学生
「6 人の日本画研究発表会」(ギャラリー数寄和 / 東京都)
2020 第 29 回 奨学生美術展 (佐藤美術館 / 東京都)
「第 7 回 未来展」(日動画廊 / 東京都)
「掛け軸と絵画の未来展」(田中八重洲画廊 / 東京都)
2021 第 44 回 東京五美術大学連合卒業・修了制作展
(国立新美術館 / 東京都)
多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻
日本画研究領域 修了
「溢 -itsu-」(ギャラリー羅針盤 / 東京都)
「molt」(ギャラリー羅針盤 / 東京都)

水や音が主題になることが多くあります。
これらの主題は総じて形が無いものになります。
形が無いということはそこには時間があるということかもしれません、
そんなことを考えながら、能動性を持って捉えることを試みました。



「334.5m/s」 595×420(mm)
和紙 岩絵具 2022 年

陳美玉 CHEN Meiyu

1992 中国 遼寧省生まれ
2011 中国魯迅美術大学 中国画専攻入学
韓国弘益大学校 美術学部 東洋画専攻交換留学
2015 中国魯迅美術大学 美術学部 中国画専攻 卒業
魯迅美術学院卒業作品展
2019 多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻
日本画研究領域入学
第 46 回 創画展 入選 (東京都美術館 / 東京都)
2021 多摩美術大学アートテーク選抜展
第 44 回 東京五美術大学連合卒業・修了制作展
(国立新美術館 / 東京都)
二人展「万象」(東京都池袋栗原ギャラリー / 東京都)
多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻
日本画研究領域 修了
グループ展「無意識の「」」



「午後」の時間」 910×727(mm)
雲肌麻紙 岩絵具 箔 胡粉 2021 年

様々な場面での自身の情緒と幻想を描いている。